

The Heart Times

医療法人社団慈弘会

内科・循環器 ハートサウンズ

もり♡クリニック

〒080-0028

広島市西18条南3丁目1-21

TEL 0155-58-5077

tp://www.jikoukai.org/



大樹・森クリニック透析センター

大樹森クリニックは、植山千秋院長をお迎えし、今年十月に開院十五周年を迎えました。内科・小児科・アレルギー科・循環器内科(人工透析)と標榜していますが、皆さんは、森クリニックに透析施設があることをご存じでしょうか？

森理事長の「南十勝に透析施設を」との強い想いで、平成十二年十月に透析センターを併設した森クリニックが大樹町に誕生しました。今号は、大樹森クリニックが取り組んでいる「透析治療と地域包括ケアシステム(注)」をご紹介します。

(注)住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に自由なく受けられるようによりする地域の支援体制のこと。
(厚生労働省より抜粋)

「人工透析」という言葉は、聞いた事はあるけれど詳しいことはわからない、という方がほとんどではないでしょうか。まずは、「人工透析」の説明をさせていただきます。

「人工透析」

腎臓の機能(水分調整・老廃物除去・電解質調整等)が低下してしまった患者様の腎臓を代行する専門的な生命維持の治療です。週二回ないし三回、一回に三〜四時間程度の治療を小さな体外循環機を使って行います。

「森クリニック透析施設の紹介」

透析ベッドの数は、二十床。現在は、月・水・金の午前と午後の二部制で透析を行っています。主に、大樹町・広尾町・幕別町忠類・更別村に在住の患者様が通院されています。



「地域包括ケアシステム」の中での透析チーム医療。森クリニックは、大樹町の医療関係機関(大樹町立病院・大庭医院・ケアステーションひかり・居宅介護支援事業所つばさ・訪問介護ケアポートげんき)との連携により地域医療や透析チーム医療を行っています。その内容として、透析患者様への医師による「訪問診療」、管理栄養士による「栄養指導」、看護師・透析スタッフによる「訪問看護」を行っています。

「ご利用されている透析患者様の声」

大樹森クリニックの透析施設が出来る前は、帯広まで往復二時間以上かけて透析に通院されてきました。

「大樹に透析施設ができて、通院するのに便利になりました」と多くの透析患者様の時間的な負担を取り除くことができました。

「ベッド一台ずつテレビがついていて快適」、掃除も行き届いていてきれい、「スタッフも皆さん優しく、よくやってきてくれます。いつもありがとうございます」、「自宅へ定期的に訪問してくださり、家族の想いも聴いてくださり安心します」というお声をいただいております。



「透析家族交流会」

大樹森クリニックでは、透析患者様とそのご家族様との交流を目的とした交流会を年に一回開催しています。

交流会の内容は、管理栄養士による自宅で簡単に出来る腎不全食のレシピの紹介と試食、透析の話題からの医療講話、スタッフとの交流レクレーションなどを繰り広げています。今年度は生演奏で歌い、踊りました。毎年大盛況です。

「これから...」

「〇歳から百歳まで」その住むコミュニティと寄り添える全人的医療を提供しますという合言葉を胸に南十勝唯一の透析医療機関として「森クリニックで良かった」と思っていたただけ施設をスタッフ全員で目指してまいります。

皆さんの周りに腎臓の病気で悩んでおられる方がいらっしやいましたら、ぜひ、大樹森クリニックまでお問い合わせ下さい。

なによりも透析治療になる前の**予防が大切**ですので、高血圧・糖尿病などで腎臓の働きが弱っている方の生活・栄養・医療相談も随時受付けています。**健康長寿**を目指しましょう。お問い合わせは ☎0155-5816-5811へ

インフルエンザ2015

昨年と比べて全国的にインフルエンザの流行が遅いようです。学級閉鎖の第一報もまだ来ていません。このまま穏やかに年末年始を迎えたいですね。また、インフルエンザの予防接種の効果もじゅうぶんに期待できそうですので、未接種の方はお早めに接種をされてください。受験や大きなイベントを控えている方は、もう一度追加で接種されることをおススメします。

お問い合わせ・ご予約は

大樹☎0155-5816-5811

帯広☎0155-5815-5077まで

あとがき

二〇一五年も残すところわずかとなりました。皆様におかれましてはどのような一年でしたでしょうか？

大樹・帯広両クリニックとも十二月三十日(水)午後から明年一月三日(日)まで休診とさせていただきますのでよろしくお願いたします。また元気に皆様にお目にかかれましますように。

ちなみに、お正月飾りは二十八日に飾るのがベストです。